

四万十の森と水と炎の祭典「もみほ」

清流通信の読者の皆さん、こんにちは。今回は、四万十川中流域の西土佐村で、村の活性化を図ることを目的に始まった「もみほ」の活動についてご紹介します。

「もみほ」は、平成14年2月に、西土佐村のモノ作りの好きな人たちが集まって結成された組織で、地域の象徴であり、グループの活動の原点でもある「森」「水」「炎」の頭文字から名付けられました。会員は、田舎料理の名人や、カヌーの達人、鍛冶職人、炭焼き、木工、竹細工師など、村の各分野で活躍する専門家8人です。『自分・人・地域づくり』、『特産品・地域の宝づくり』、『多くの人との出会いの場づくり』を基本として、四万十川の自然や、地域に昔から根付いている技術や文化を保護し、次の世代に引き継ぎ、地域の活性化につなげていこうと、様々な取り組みを実践されています。

- 四万十の森と水と炎の祭典／「もみほ」最大のイベントで、年2回ほど開催。体験教室を通して地域の伝統や文化を伝承し、楽しく語り合う交流イベントです。今年は、7月11日に「草木染」の体験教室を開催しました。大変好評だったため、秋にも行う予定です。
- くっちゃべる会／毎月1回、地元の旬の食材を味わいながら、村内外の人たちと交流。
- もみほ教室／会員や地域の人が先生となり、地域の伝統技術や文化を互いに学び教え合う教室。
- 特産品開発／村の素材を利用し、会員各自の知恵や特技を活かした特産品づくり。etc.



▲もみほ竹細工体験教室



▲もみほ習字教室

10月9日には、四万十川の河原で「特産品開発」と「元気の出る村づくり」をテーマに、青空シンポジウムを開催予定です。山川の幸を使った栗ごはんや鮎料理などの試食イベントも行うそうです。ぜひこの機会に、もみほの集いに参加してみませんか。

- お問い合わせ／味の館(午前中) TEL.0880-54-1198

URL <http://morimizuho.hp.infoseek.co.jp>

Topics

四万十川河口の中村市で「大文字の送り火」

中村市間崎地区の盆行事で、小京都中村市に夏の終わりを告げる風物詩。約500年前、応仁の乱を逃れて中村に下った一条教房の息子、房家が一族の精霊を慰め、都を懐かしんで始めたと伝えられ、旧暦の7月16日に山の神を祭っている十代地山の中腹に松明を灯します。

- 日時／場所：8月31日(火)19時過ぎくらいから／中村市間崎(中村駅より車で15分)
- お問い合わせ：中村市商工観光課 TEL.0880-34-1783